

信州型健康ゼロエネ住宅（仮称）指針について（案）

《指針の取りまとめにあたっての基本的な考え方》

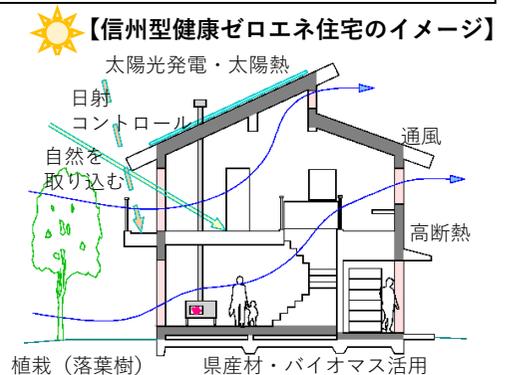
- ・ 2050年を見据えた基本性能を、適切なコスト負担で実現できること
- ・ 数値的な性能だけでなく、豊かな「住空間の創出」や「住まい方」につながる
- ・ 画一的ではなく、地域性や工務店の独自性など、多様な住まいづくりにつながる
- ・ 信州らしさなど、本県の環境・資源や独自性を反映し、地域の経済循環に資すること
- ・ 効果的なエビデンス等により、分かりやすく、イメージしやすいこと

◆指針の主な構成

- ◇ 信州型ゼロエネ住宅の基準（数値等）
- ◇ 基準を実現化するための具体的手法
 - ・ ゼロエネルギー化の手法
 - ・ ゼロカーボン化の手法
 - ・ 建築計画の手法（信州らしさ）
- ◇ ゼロエネ住宅の利点（コスト、健康）
- ◇ 既存ストックの活用・改修

◆エビデンスの整理項目

- ・ モデル住宅設計・計算例
- ・ 外皮性能、創エネ設備関連
- ・ 木材、建材、バイオマスの選択
- ・ 信州らしさや独自ルール
- ・ 建築主への訴求（コスト、健康）
- ・ 既存ストックの改善試算 等



◆目指す住宅像の数値目標等

【主な内容・項目】

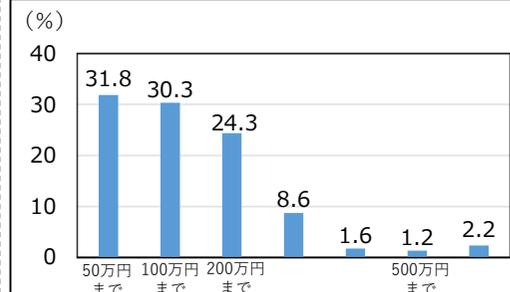
- ◇ 外皮性能基準（ U_A 値）
 - ・ 基本基準（壁内断熱の最大値）
 - ・ 推奨基準（50mm程度の外張断熱追加）
 - ・ 先導基準（高度な断熱性能の追求）
- ◇ 気密性能基準
- ◇ 一次エネルギー消費量削減率
- ◇ 創エネルギー設備の設置
- ◇ 県産木材の利用率（量）
- ◇ 建築計画の工夫

外皮性能（断熱性能）の参考基準

	地域区分・ U_A 値 ^{※1}				県基準における『想定』
	2	3	4	5	
HEAT20 ^{※2} G 3	0.20		0.23		『先導基準』
HEAT20 ^{※2} G 2	0.28		0.34		
Z E H +	0.30	0.40			『推奨基準』
HEAT20 ^{※2} G 1	0.34	0.38	0.46	0.48	
Z E H	0.40	0.50	0.60		『基本基準』 『既存改修』
現行 省エネ基準	0.46	0.56	0.75	0.87	

※1 U_A 値(W/m²・K):建物内部から外部への熱量の逃げやすさ(値が小さいほど、熱が逃げにくい)
 ※2 HEAT20:一般社団法人 20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会

<参考>省エネ住宅建築費上乗せ可能額



住宅の脱炭素化に向け、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。*

※ 令和2年度 住まいに関する県民インターネットアンケート (回答者数:1,000名)